

夜間学校ニュース

発行
 釜ヶ崎夜間学校
 西成区萩ノ茶屋二一八
 電話 六四七-三九四六
 (木旺) 夜ぐじく(9.い)

7月は
 仕事仲間について
 考える

82年度
 第2期 7月~9月
 テーマ『仲間意識』

我々はどんな集団を目指すのか

望ましい組合や運動体は？

☆夜ぐじより喜望の家集會室にて

82年度第1期、4月、6月の夜間学校は、「ピンハネ」を大きなテーマに、現在奪われつづけている諸権利や、今まで奪われてきたものについて、労働・医療歴史の各側面から考えてきました。

その結果、毎週ビラで報告しているようにいくつかの点がそれぞれ明らかになりました。

労働の面では、必要とすべき、必要な数の人間を欲し

いと思っている業者と、自分の必要に応じて仕事に行きたいと言う我々の中間に立って、ある程度双方の要求を満たしているところに存在の根拠があること。従ってピンハネをなくすためには、我々の方から積極的に新たな方法を講じていく必要があること、などです。

しかし、問題点が多少なりとも明らかになったとしても

仲間意識について考えよう

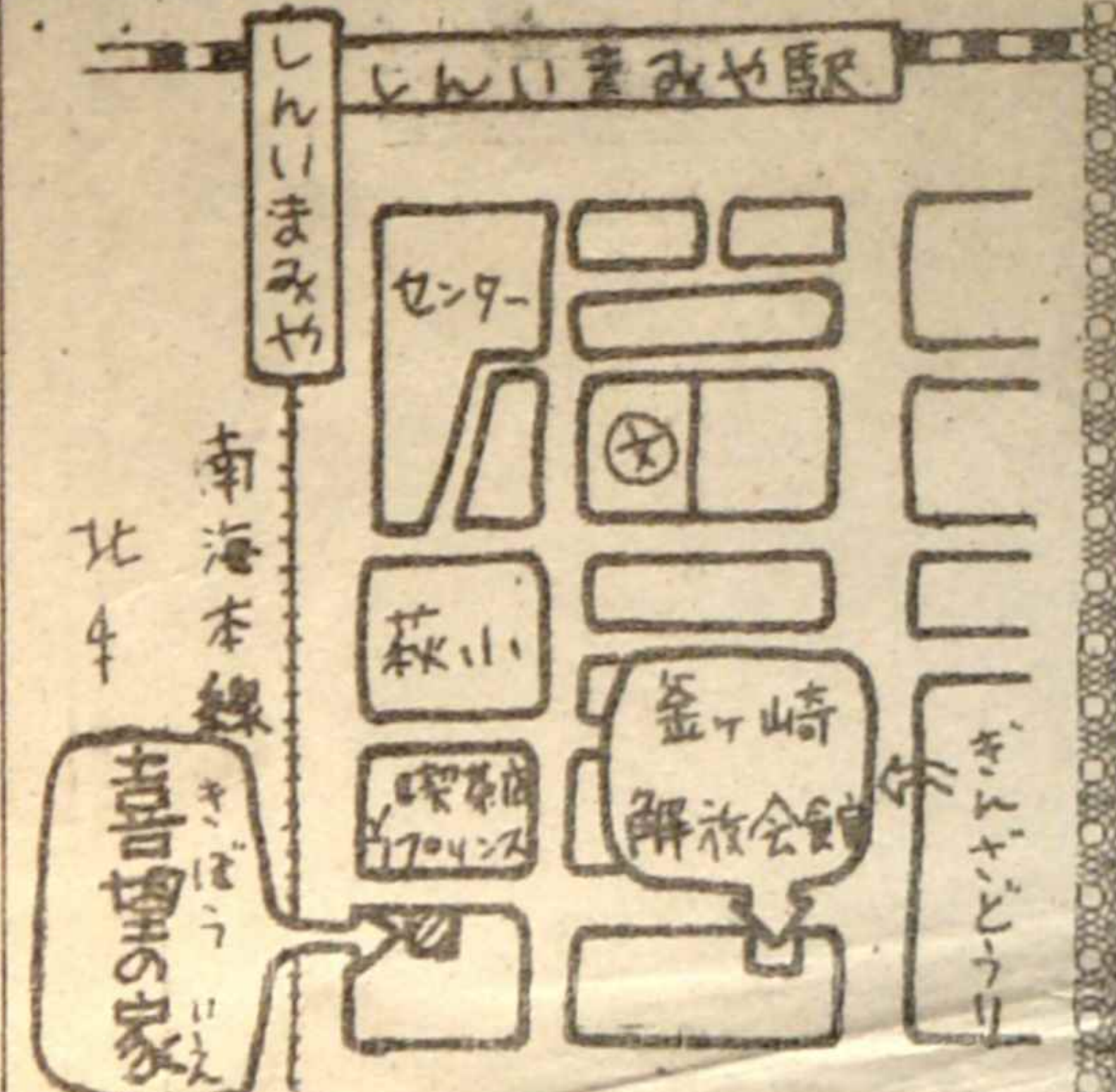
ても何もしなければ状況は少しも変わりません。その時に我々がかかえている問題を解決していく為には、どう言う運動体や組織が必要なのか向われてきます。

組合が主催する集會での討論の中で、一人の仲間から思わず、「やっぱりわしらは組合を作って頑張らんとあかんやあ」と言う発言が出たことがあります。

これは本人が真剣なだけに笑うに笑えません。

このことが示しているのは、今現在ある組合が必ずしも釜にふさわしいものにならずに、仲間の参加がまだくすぶらないということに他なりません。

たしかに釜には釜固有の労働と生活形態があり、組合にしても普通の組合の形



態と異なる釜固有の組合の形態があるはず。大事なことは、それは仲間一人一人が考え決断していかねばならないもの。たと言うことです。

今仕事が進まなくなると、最も力強い運動が必要とされているこのときこそ、この問題を皆で考え直してみたいと思います。

そこで夜間学校では、7月、9月のテーマを「仲間意識」としました。是非とも多くの仲間が参加して下さい。

わが歴史の歩み

(自由に個人史をとりかき)

- 1945年 敗戦 (昭20年)
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50 朝鮮戦争 (特需景気)
- 51
- 52
- 53 公害
- 54
- 55 景気景気
- 56 景気景気
- 57 新設設備
- 58
- 59 景気景気
- 60 景気景気
- 61 景気景気
- 62 景気景気
- 63
- 64 新幹線
- 65
- 66
- 67 景気景気
- 68 景気景気
- 69
- 70 景気景気
- 71
- 72
- 73 景気景気
- 74
- 75 景気景気
- 76 景気景気
- 77
- 78
- 79
- 80 景気景気
- 81
- 82 景気景気

歴史シリーズ最終まとめ報告

わしらが創る歴史

かつて国の歴史に

まき込まれた

歴史というと、映画やテレビや小説に出てくる歴史上の人物や、学校の社会科で憶えさせられた天皇や将軍を中心とした年代などを、思いつかべる人が多いようです。

戦争は、そのうち最も大きな犠牲をわれわれにしいまじいのです。たった一銭五厘の召集令で、戦地に送られ戦死した多くの先輩がい

ます。家庭が崩壊していきました。「お国のために」という大義名分で、いつもわれわれは苦しめられて来たのでした。

釜

釜におりても同じことかといえうです。国家の大事業(朝鮮戦争、ダム工事、道路工事、ビル建築、新幹線、高速道路、宅地開発、オリンピック、万国博、沖縄海洋博など)に、大きな貢献をなして来たのでした。結局は、今の

ように仕事が少ない、使われての状況です。いつまでもやらせつづけてはいらぬのです。何とかわれわれの力でこの苦境を乗り切つていかなければなりません。

はこりごとく仕事し

共に歴史を拓こう

「少ない仕事はなんとかやらんか。はこりごとく仕事しなさい」といふ苦しい発言です。

「もっと新しい他の仕事はないか。昔は農業や漁業、越しとあつた。」「こんな事務局の仕事をあつせんてきんやろか。」「ゆとりある生活したいね。」「釜は天国で半面地獄や。みんながんばろうや。」

スライド上映会に

約50名集まる

昨日西成市民館にて、韓国労働者の闘いのスライド「光を求めて」を上映。約50名が集まり、釜ヶ崎の闘いとこの比較をしながら話し合いました。韓国は、自由がなく、すぐ軍隊の介入があり生活は苦しい。釜は、比較的自由はあるが、警察の介入もあり、仕事は少なく生活は苦しい。違うようでもよく似ている。ただ韓国は、弾圧の内にも力強く労働者が団結して立ち上つていいる。釜はどうかだ……